

## 第 7 回留学報告書

アメリカでの 4 度目の冬を迎え、Ph. D. 課程も佳境に入ってきました。ニューヨークがコロナ関連で激動の時を迎えています。私は 3 年目までに着手してきたプロジェクトを完成させたり、論文を改訂することに追われる一方で、二年後の就職活動に向けてジョブマーケットペーパーをすすめていくことも求められています。さまざまな仕事を同時に進めていくことは一つのプロジェクトに注力するよりも非効率に思われるかもしれませんが、飽き性な自分にとっては向いているのではないかと考えています。

それと言うのも、すでにあるプロジェクトは具体的なゴールに向かって、作業を実行していくフェーズに入っています。他方で、ジョブマーケットペーパーはいかに面白いアイデアを出せるかという少し異なる頭の使い方が必要になります。このプロジェクトの初期段階では先行研究を批判的に読んだり、それらのモデルを弄ってみたり、生焼きのアイデアを具体的な数理モデルに落とし込んでいくという試行錯誤を繰り返すこととなります。こればかりを四六時中行うのはかなりの負担なので、決まった作業がメインの段階にあるプロジェクトが良い息抜きとなります。

前回の報告書を提出して以来のこの 4 ヶ月間で大変嬉しかったことの一つとして、三年目までに取り組んだタームペーパーの一つが担当教授に評価され、彼が今学期開講している Ph. D. 学生向けの講座の授業で発表する機会を頂けたことです。私の発表が現在タームペーパーを書こうとしている学生の役に少しでも役に立っていれば望外です。この論文も最終的には学術雑誌に投稿できるように改訂していきたいと考えています。

この冬の間はニューヨークに残り、研究を引き続き進めていきます。それに加えて、来年一月に他大学から NYU に就職活動をしにきた優秀な学生たちの研究発表を対面で参加し、学びを深めたいと思っています。この報告書を書いている現在のところ、オミクロンの株の流行も相まって、オンラインでの参加になる可能性が濃厚なことが少々残念です。

末筆になりますが、このような素晴らしい研究留学の機会を享受できているのは船井財団のご支援の賜物でございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



サンクスギビングに初めて七面鳥を焼きました。低温調理器も使いました。脂身が少なくドライで、味に飽きてしまうのが難点です。